大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

開店時刻を通年午前10時から年間180日について午前9時に繰り上げる。(法第6条第2項) (事前送付(12月)の意見を確認した結果、回折減衰等を考慮した後の騒音資料を添付)

1 届	出事項											
1	届出年月日 平成16年7月7日											
		店舗名称	トヨタ生活協同組合メグリア本店									
2		店舗所在地	豊田市山之手8-92ほか									
3		変更をする日	平成16年7月24日									
4	届出事項	変更前	変更後									
	- 名称	トヨタ生活協同組合										
	異 17.衣名	理事長 服部正雄										
		豊田市豊栄町2-111										
(1)	1 1 1 1	なし										
(1)	小名称	トヨタ生活協同組合	変更前に同じ									
	売 代表者	理事長服部正雄	同									
	業 住所	豊田市豊栄町2-111	同									
	者備考	他42名	同									
(2)	<u> 店舗面積</u>	17,455 m	同									
	駐位置	別紙図面のとおり	同									
	車 台数 駐 位置	1171 台	同									
	駐位置	別紙図面のとおり	同									
(3)	輪台数	115 台	同									
	荷位置	別紙図面のとおり	同									
	捌 面積 廃 位置	449.2 m [*]	同									
	焼 <u> </u>	別紙図面のとおり 207 m i	同									
	<u>米 谷里</u> 営 開店時間	<u>207 m</u> 午前10時	回 午前10時(年間180日午前9時)									
	業閉店時間	一門 10時 生後0時	変更前に同じ									
	未 闭心时间		支支前に回り									
	上 駐車場利用時間帯	午前8時30分(一部午前9時又は午前9時30分)か	同									
(4)		ら午後9時30分(一部午後10時)まで										
	駐 出入口数	13箇所	同									
	場 出入口位置	別紙図面のとおり	同									
	荷捌時間帯	午前6時から午後9時まで	同									
業態												
用途地	域 近隣商業地	地域										

考 平成13年1月附則第5条第1項届出(増床等)、平成15年9月第6条第2項届出(閉店時刻繰下等)

- I 施設の配置及び運営方法関連事項
 - 1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮
 - (1) 交通に係る事項
 - ① 荷捌施設の整備等
 - ア 荷捌施設の整備

ſ	停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピ−ク時車両数	処理能力
ſ	敷地内	混在	449.2mੰ	あり	15分	11台	12台	

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
10:00~11:00	12台	17:30 ~ 18:30	左記以外	有り	4台分	

- ② 経路の設定等
- (1) 車両関係
- ア 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通 整理員
有り	有り	非配備

- 2 生活環境悪化防止関係
- (1) 騒音発生に係る事項
- ① 騒音問題対応策
- ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯
東方向	58 m	無	室外機	無	無
西方向	無し	無	•	ı	-
南方向	16 m	無	給排気口	無	無
北方向	15 m	無	室外機	無	無

| 遮音壁の悪影響 | 遮音壁設置なし

評価	

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	地階(1階)に設置
	アイドリングストップ、時間調整による搬入待機車削減
荷捌施設機器選択面での配慮	運搬機器の整備、作業員の意識向上
放送設備使用面での配慮	夜間は使用しない

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

_		
	冷却塔、室外機からの騒音	既存住宅に影響が少ない場所に設置
	給排気口からの騒音配慮	無
	駐車場からの騒音配慮	舗装整備
	廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	地階(1F)に設置し、住宅地に面する3方を壁で遮蔽

② 騒音の予測評価

予	定常騒音	冷却塔		空調室外機	135	給排気口	9	変電施設		浄化槽	ポンプ	4	エンジン等	
測	た 市 棚 日	冷凍室外機		冷凍機械室		受水槽	1	排風機	36					
対	変動騒音	ゴミ収集作業	0	BGM	0	アナウンス								
象	支 到融日	自動車走行	0	荷捌アイドリング	0	後進警報ブザー	0							
騒	衝撃騒音	荷降し音	0	台車走行	0									
音	119 学 中日													
建物	建物の構造(高さ) 鉄筋コンクリート造 + 鉄骨造 2 2 m													

ア 等価騒音レベル予測

		1 (V)			
		東(B)	西(D)	南(C)	北(A)
	用途地域	近隣商業地域	第1種住居地域	近隣商業地域	第1種住居地域
	昼間基準値	60 dB	55 dB	60 dB	55 dB
	夜間基準値	50 dB	45 dB	50 dB	45 dB
設	昼間等価騒音レベル	47.0 dB	48.0 dB	55.0 dB	55.0 dB
置	評価	0	0	0	0
者	夜間等価騒音レベル	-	=	ı	-
111	評価	-	_	_	_
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
木	夜間等価騒音レベル検証	_	_		

夜間等価騒音レベル及び夜間における騒音ごとの予測は、前回届出時より閉店時間等の繰 り下げがみられないため再度の騒音の予測は実施していない。

(2) 廃棄物関係 悪臭問題関係配慮 特になし 衛生問題関係配慮 特になし

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	82.80 m	1日	1.76 t	0.10 t/m³	17.60 m ³	変更なし	0
空缶・空き瓶	14.60 m ³	2.3日	0.31 t	0.15 t/m³	4.75 m³	変更	0
厨芥・その他	109.60 m	1日	2.33 t	0.15 t/m³	15.53 m ³	変更なし	0
合計	207 m ³	-	-	_	37.88 ㎡	_	0
保管日数の設定	根拠 既	存の実績に基づく					
見かけ比重変更の理由 指針より空缶の見かけ比重最大値を使用							
指針と異なる算定式の使用「変更な」。							

廃棄物排出量を減少させる要	因	廃棄物排出量を増加させる要因			
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	有		
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	有		
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	有		
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	有		

位	適正な分別の実施	8種類の分別を実施
置	搬出作業の利便性の確保	ごみ処理庫横に専用搬出場の確保
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	専用搬出場は、地階(1階)に設置し、住宅に面する3方は壁で
構	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	有
造	生ゴミ保管施設の気密性の確保	有

十分な搬送頻度の確保	不燃物は週3回、油は週1回、その他は毎日回収
繁忙期の特別な措置	特に無し
運搬(予定)業者(免許番号)	ホーメックス㈱
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	有
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	発生する生ゴミは、当日地下に保管

評価

市町村の意見概要	対応
意見なし	_
住民等の意見概要	対応
意見なし	_

	県の意見案	
意見なし		